

平成28年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証

No.	基本目標/手段	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度実績					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 実績値	実績額 (千円)	財源内訳		指標 目標値 (H28)			
							特定財源 (千円)	一般財源 (千円)						
1	1/①	よこて農業創生 大学事業	地域価値創造拠点 整備事業(新町エ リア) 【H26⇒27繰越】	・管理棟解体及び改修工 事 ・駐車場整備工事 ・作業道改良工事 ・実施設計等	本事業による新規就 農者数(研修者数)	5人/毎年 (H27~31)	5人/年	2人/年	179,109	141,000	38,109	<ul style="list-style-type: none"> ■新管理棟1棟新築 ■研修実証ハウス2棟新築 ■堆肥舎1棟解体撤去 ■敷地造成工事(立木処理工、すきとり盛 土工、排水処理工、アスファルト舗装工) ■上記園芸施設等新築工事設計監理委託 	<ul style="list-style-type: none"> ■新管理棟1棟新築 ■研修実証ハウス2棟新築 ■堆肥舎1棟解体撤去、敷地造成工事の実施 	
2	1/①	よこて農業創生 大学事業	地域価値創造拠点 整備事業(狐塚エ リア) 【H26⇒27繰越】	・旧大雄中学校舎等解体工 事 ・地域価値拠点 圃場等 整備工事 ・消防用設備等設置工事 ・実施設計、地質調査等	本事業による新規就 農者数(研修者数)	5人/毎年 (H27~31)	5人/年	2人/年	14,642	6,400	8,242	<ul style="list-style-type: none"> ■旧大雄中学校校舎等解体工事実施設計業 務委託 ■地域価値創造拠点(狐塚エリア)整備工 事基本設計業務委託 ■地質調査 ■大雄コミュニティ交流センター(排水・ 電源・給水設備切替工事) 	<ul style="list-style-type: none"> ■旧大雄中学校(S49年建築教室棟及びS47年建築プール)解体実 施設計 ■旧大雄中学校(H3年建築教室棟)改修及び6次産業化支援施設建 築基本設計 ■地質調査の実施 ■大雄コミュニティ交流センター(排水・電源・給水設備切替工 事)完了 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域価値創造拠点整備構想・計画に基づ き、拠点施設等整備を実施するとともに新規 就農に向けた人材育成、農業所得向上に 向けた取組みを着実に実施する。
3	1/①	よこて農業創生 大学事業	農業経営者等育成 事業 【H26⇒27繰越】	・研修生等育成事業 ・農業経営実践レベル アップ事業 ・横手産野菜普及促進事 業	本事業による新規就 農者数(研修者数)	5人/毎年 (H27~31)	5人/年	2人/年	3,431	0	3,431	<ul style="list-style-type: none"> ■人材育成に係る研修会等の開催、露地ト マト栽培マニュアルの作成およびその共同 研究 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者研修カリキュラムの充実 ■露地トマト栽培マニュアルによる作付け推進 ■農業経営実践者との土壌診断講習 2回 ■各種栽培講習の開催 3回 	
4	1/①	就農支援事業	新規就農者レベル アップ事業 【H26以前】	青年農業者同士また、青 年農業者とベテラン農 業者との交流会や全国規模 の研修会への参加費一部 補助。	新規就農者数	30人/毎年 (H27~31)	30人/年	30人/年	19	0	19	<ul style="list-style-type: none"> ■経営力向上研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■農業経営の専門家を講師とし、効率的かつ収益性のある農業経営 等について研修することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者のレベルアップにつながるよ うな研修を実施していきたい。
5	1/①	就農支援事業	フロンティア農業 者育成費 【H26以前】	新規就農や新部門開始に 必要な技術を身につける ため、県の各試験場等で 研修を行なう場合に補助 する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27~31)	30人/年	30人/年	6,000	3,150	2,850	<ul style="list-style-type: none"> ■農業試験場 1名×12ヶ月 ■果樹試験場 4名×12ヶ月 <p>※この他1名(農業試験場)は青年就農給 付金(準備型)を受給</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農や新部門開始に必要な技術や経営ノウハウを身につける ことができた 	<ul style="list-style-type: none"> ■研修制度を広く周知し、研修生の確保に 努め、新規就農又は新規部門開始に必要な 技術・知識を習得してもらい、地域農業の 優れた担い手を確保・育成する
6	1/①	就農支援事業	地域で学べ農業技 術研修事業 【H26以前】	就農に必要な技術を身に つけるため、農業後継者 等が市内の実験農場にお いて研修を行なう場合、 研修奨励金を助成する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27~31)	30人/年	30人/年	3,400	1,275	2,125	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村実験農場活用型 2名×12ヶ月 ■市町村実験農場活用型 1名×9ヶ月 ■先進農家活用型 1名×1ヶ月 <p>※この他2名(実験農場活用型)は青年就 農給付金(準備型)を受給</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農や新部門開始に必要な技術や経営ノウハウを身につける ことができた 	<ul style="list-style-type: none"> ■研修制度を広く周知し、研修生の確保に 努め、新規就農又は新規部門開始に必要な 技術・知識を習得してもらい、地域農業の 優れた担い手を確保・育成する
7	1/①	就農支援事業	青年就農給付金事 業 【H26以前】	原則45歳未満の新規就農 者に年間150万円を給付 する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27~31)	30人/年	30人/年	64,550	64,547	3	<ul style="list-style-type: none"> ■新規 3名 ■継続 42名 ■所得制限による給付停止 3名 	<ul style="list-style-type: none"> ■就農前後の青年就農者に対し給付金を給付することにより、青年 の就農意欲の喚起と就農後の経営安定につながった 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域農業の優れた担い手に対し引き続き 支援を行う
8	1/①	就農支援事業	農業インターン シップ 【H26以前】	将来の地域農業を担う人 材を育成するため、実践 研修や先進地研修等を実 施する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27~31)	30人/年	30人/年	111	0	111	<ul style="list-style-type: none"> ■高校生の地域農業研修会 ・市内の新規就農者等(個人2、市実験農 場)への視察研修 ■高校生の就農促進、担い手人材育成活動 ・管外視察研修、夏休み農家研修、長期農 家研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■高校生に対する就農促進と、農業の担い手の確保、育成が図られ た 	<ul style="list-style-type: none"> ■高校生に対する就農促進と、農業の担い 手の確保、育成を図る
9	1/①	若年者等人財育 成・地元定着支 援事業	若年者等人財育 成・地元定着支 援事業 【H26以前】	・若年者の人材の育成を 支援することにより、市 内の企業、事業所等の雇 用の安定及び若年者の定 住を促進させる。求職者 等が就業等に必要資格 の取得等に係る経費の一 部を補助。	若年者等人財育成・ 地元定着支援事業を 活用し資格取得等し た人数(補助対象入 数)	のべ80人/毎 年 (H28~31)	のべ80人 /年	のべ122 人/年	5,578	0	5,578	<ul style="list-style-type: none"> ■市内企業・事業所等が18歳以上40歳以 下の従業員に対して行う人材育成に係る費用 の一部を補助。 ■市内に住所を有する18歳以上40歳以下 の求職者等が就業等のための資格取得等に係 る経費の一部を補助。 	<ul style="list-style-type: none"> ■補助件数 個人：37人 企業：のべ56事業所・85人 ■目標値を大きく超える対象者へ補助金を交付し、事業所の雇用維 持並びに若年者の定住に寄与。 	<ul style="list-style-type: none"> ■現在、有効求人倍率も1を超えた状況か ら企業の従業員に対する資格取得等につい ては、一定の役割を終えたとし、H29年度 は企業向けの補助制度は廃止。 ■元来の趣旨である求職者と求人とのミス マッチ解消ならびに若年層の定住促進のた めに、個人向けに特化して事業を継続して いく。

平成28年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証

No.	基本目標/手段	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度実績					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 実績値	実績額 (千円)	財源内訳					
									特定財源 (千円)	一般財源 (千円)				
10	1/①	若年者等人財育成・地元定着支援事業	就職情報総合ポータルサイト「ジョブナビ」構築事業 【H28】	・若者の横手市への定住促進のため、新卒者等の若い世代を対象としたUIJターンのための就職を支援 ・市内企業の求人状況や企業情報等就職情報ポータルサイトを構築	サイト登録事業者数	2,950事業所 (H28～31)	2,800 事業所	2,441 事業所	6,885	0	6,885	<p>■横手雇用開発協会へ事業委託し、横手市企業・雇用情報サイト「横手JOBナビ」を9月末に公開。</p> <p>■公開後も、サイト周知を継続し、内容充実に努めた。</p>	<p>■9/30(金)にサイトを公開。閲覧等確認状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイト登録事業者数 2,441件 ・サイト閲覧ユーザー数 延べ6,384人 35人/日 ・サイト閲覧数 延べ36,683回 200回/日 ・HP訪問者が見る平均ページ数 5.08ページ ・HP訪問者のうち1ページ見て戻る割合(直帰率) 60.79%(40%～60%が目安) ・求人検索の利用:延べ8,040回 ・企業検索の利用:延べ7,549回 	<p>■各種就職面接会等への設置や企業訪問時の掲載又は内容更新依頼を行い、サイトの周知並びに内容の充実を図っていく。また、フォローアップを行い、企業間及び求人者のマッチング状況を確認することで魅力あるサイト運営に努めていく。</p>
11	1/①	若年者等人財育成・地元定着支援事業	インターンシップ促進支援事業 【H29】	市内企業におけるインターンシップの参加を促進するため、大学生等がインターンシップのために負担した交通費・宿泊費に対して補助金を交付する。	インターンシップ参加者	40名/毎年 (H29～31)	—	—						
12	1/①	起業・創業支援事業	横手市起業家育成事業 【H26以前】	・起業ワンストップ相談窓口の運営 ・BIZサポートよこての運営 ・起業セミナー開催 ・新たな起業又は創業をしようとする者に対し、起業・創業支援事業補助金を交付	相談者のうち、実際に起業した件数	7件/毎年 (H28～31)	6件/年	7件/年	10,948	1,630	9,318	<p>■起業ワンストップ相談窓口を設置し創業相談を実施。</p> <p>■Bizサポートよこてを運営し新規創業者を支援。</p> <p>■起業したい女性、起業したての女性経営者を対象に「女性のための起業家支援セミナー」を開催。</p> <p>■起業・創業意欲のある方等を対象に「よこて創業塾」を開催。</p> <p>■新たに起業される方に、起業・創業支援事業補助金を交付。</p>	<p>■延べ158名の方々に創業相談を実施。</p> <p>■7社が利用(うち1社が卒業)</p> <p>■26名が参加し女性起業家の事例紹介やクラウドソーシング等を学ぶセミナーを実施。</p> <p>■12名が参加し事業計画立案、成功事例の紹介等をわかりやすく4日間の受講で学ぶ。</p> <p>■起業家7名</p>	<p>■起業・創業を活性化させるため創業支援事業計画による取組を継続し、創業支援事業者との連携と事業PRを強化する。</p>
13	1/①	起業・創業支援事業	横手市起業家発掘事業 【H28】	・県外在住の仕事を作り出せる起業家の移住を促進 ・伴走型経営支援(ハンズオン支援)を行うことで、起業家を育成	UIJターンの起業家数	2件/毎年 (H28～31)	2件/年	2件/年	13,734	13,700	34	<p>■契約相手先である一般社団法人MAKOTOと定期的に打ち合わせを実施。情報提供にも努めた。</p> <p>【MAKOTO活動状況・・・訪問、ハンズオン支援、起業家発掘調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 横手(延べ9社):活動5日 ・6月 横手(延べ10社)、仙台(1社):活動7日 ・7月 横手(延べ10社)、東京(2社)、湯沢(1社)、仙台(1社):活動11日 ・8月 横手(延べ15社)、仙台(1社)、にかほ市(1社)、東京(2社):活動16日 ・9月 横手(延べ6社)、仙台(1社)、東京(延べ5社):活動12日 ・10月 横手(延べ10社)、仙台(3社):活動7日 ・11月 横手(延べ19社):活動11日 ・12月 横手(延べ11社):活動9日 ・1月 横手(延べ9社):活動7日 ・2月 横手(延べ10社)、東京(1社):活動8日 ・3月 横手(延べ3社)、東京(1社):活動3日 	<p>■UIJターンの起業家 2名がUIJターンの開業準備を開始。</p> <p>■ビジネスマッチング 市内内外でのネットワーク構築後、12件のマッチングを実施。成果目標は12件であり目標達成。</p> <p>■伴走型経営支援 6社支援。成果目標は6社であり目標達成。</p>	<p>■UIJターンの起業家の誘致と将来的ポテンシャルのある中核的起業家を育成するプログラムを実施。</p>
14	1/①	成長産業支援事業	ICTビジネス推進事業 【H26以前】	・ビジネスに活用できるICTセミナーを開催	セミナー参加者人数	10名/毎年 (H28～31)	10名/年	10名/年	234	0	234	<p>■ビジネスで売れる仕組みを構築するため、マーケティングに使えるITスキルを活用し、企業の売上げアップと付加価値の向上を図るための「ITスキルを活用したマーケティングセミナー」を平成29年3月16日(木)に開催。</p>	<p>■セミナー受講実績 横手市内の事業所(非製造業)に勤務している方、または、横手市民で起業を目指している方。10名</p>	<p>■市内のIT系企業の事業拡大及びICTを活用した起業を目指している方の起業推進を図るため、ITツールを習得できるセミナー等を開催する。</p>

平成28年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証

No.	基本目標/手段	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度実績					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H28)	指標 実績値	実績額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
15	1/①	成長産業支援事業	特定産業・大規模立地企業等研修支援事業 【H28】	・特定業種や一定の要件を満たす新規立地企業等に対し、社員に対する研修に係る経費や研修を受ける社員の旅費を助成	新規立地企業数	1件/毎年 (H28~31)	1件/年	1件/年	158	0	158	■横手第二工業団地への新規大規模立地1社の計画を認定し、補助金の交付(158千円)を行った。	■計画認定を行った大規模立地企業1社へ補助金を交付することにより、当該企業の立地を支援でき、平成28年度新規常用雇用21名(うち横手市民18名)を生み出すことができた。	■大規模立地企業1社(2年目)とIT・ソフトウェア関連企業1社を支援予定。
16	1/①	成長産業支援事業	BICプロジェクト支援事業 【H28】	・投資額5億円超(土地・消費税除く)かつ新規正規雇用10人以上を行う市内中小企業及び市内に新たに立地する企業に対し、投資額の5%(上限5千万円)を補助する。	新規立地企業数	1件/毎年 (H28~31)	1件/年	1件/年	50,000	50,000	0	■横手第二工業団地への新規大規模立地2社の計画を認定し、うち1社への補助金の交付(50,000千円)を行った。	■計画認定を行った大規模立地企業1社へ補助金を交付することにより、当該企業の立地を支援でき、平成28年度新規常用雇用21名(うち横手市民18名)を生み出すことができた。	■H28年度に計画認定したもう1社に対し、H30年度(認定計画期間の満期)に補助金交付予定。
17	1/①	新製品・新技術開発支援事業	地域ビジネス発掘調査事業 【H26以前】	・産業振興に向けた市の課題解決に結びつく、企業アイデアの商品化や新製品等の開発のための試験を委託により実施	新製品開発着手企業件数	2件/毎年 (H27~31)	2件/年	1件/年	55	0	55	■平成26年度から開発に着手し、改良の声を反映した、いぶりがっこ製造省力化装置を生産者を交えて実証実験実施した。	■実証実験の結果、いぶりがっこ製造省力化装置の改良について、生産者の方々からも評価いただき、開発・改良について、一定の成果が見られた。	■新たな地域課題として、レタスの水耕栽培において、水温が上がりすぎないようにする仕組みの開発依頼があり、来年度以降、大田区産業振興協会と企業と連携し、進めたい。
18	1/①	新製品・新技術開発支援事業	ものづくり事業化プラン・プロジェクト発掘支援事業 【H26⇒27繰越】	・新製品・新技術開発者への補助 ・新製品・新技術のプラン、プロジェクトの募集・発掘と開発者とのマッチング ・地域課題を発掘し、課題解決に向けた各種団体との調査研究及び新製品を開発	新製品開発着手企業件数	2件/毎年 (H27~31)	2件/年	2件/年	11,556	0	11,556	■ものづくり事業化プラン開発支援、プランコンテストそれぞれ審査会を開催 ・ものづくり事業化プラン開発支援補助金 三又建設株式会社 1件(5,000千円)3年計画のうち2年目 ・株式会社クツザワ 1件(6,300千円)新規 ・ものづくりプランコンテスト:優秀賞1点 ■新商品生産による新事業分野開拓者認定制度審査会を開催 認定 2社2件 ・株式会社アクトラス 点滴センサ IDC-1501 ・JUKI電子工業株式会社 分光測色計 AY555	■杉皮防草マットの開発に支援 ・製材工場で発生し、多くが産廃処理される杉皮を活用した防草マットの試作品及び生産工程の改良に支援。 ■自動車製造におけるボディー等溶接治具「受駒」の高周波焼入れを含む1個流し体制の確立に支援。 ■認証制度により市内企業開発の新商品を認証 ・2社2製品を認証 ・平成27年度に認証した(製品:エナブライトプロG-Ledaer(LED街路灯))企業と市の間で購入に関する約1億円の契約を締結、企業の業績アップに寄与。	■市報・HP・訪問活動等により「ものづくりプランコンテスト」「認証制度」のPRをより強化する予定。

平成28年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証

No.	基本目標/手段	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度実績					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H28)	指標 実績値	実績額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
19	1/①	IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業	IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業 【H26⇒27繰越】	・ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業等の業種で、新規に3名以上を正規雇用、または市内事業所等における純増を行った法人に対し助成	対象とする産業について新規雇用を伴い起業又は事業拡大した事業所数	2事業所/毎年 (H27～31)	2事業所/年	1事業所/年	4,962	0	4,962	<ul style="list-style-type: none"> ■アイテック株式会社に対する補助金（継続・2年目） ■株式会社ノース設計に対する補助金（新規 ※アイテック株式会社より分社化） ■渡敬情報システム株式会社に対する補助金（新規 ※事業拡大） ■事業費の主な内訳（見込み） 補助金 4,962千円 （雇用 600千円 ・従業員家賃 1,590千円 ・事務所賃貸 1,260千円 ・通信費 1,512千円） 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規雇用数：正規雇用 3名（渡敬情報システム株式会社分）（うち横手市在住 2名）（2名の年齢：31歳、34歳） ※株式会社ノース設計に関しては、アイテック株式会社より分社化したもので雇用の増はなし。 	<ul style="list-style-type: none"> ■雇用の拡大に資する事業であり、市内既存企業含め、積極的に企業訪問（事業の紹介、周知）を実施する。
20	1/②	「横手を学ぶ郷土学」創設事業	「横手を学ぶ郷土学」創設事業 【H27】	・全小中学生向けの「横手を学ぶ郷土学総合テキスト」の作成 ・文化財の伝承と発信のために伝統芸能の育成	「横手を学ぶ郷土学」完全実施校	23校（全校） (H31)	0校	0校	21,342	21,300	42	<ul style="list-style-type: none"> ■「漫画後三年合戦物語」を4,500部購入、市内5年生上の小中学生及び教職員、図書館等に配布。 ■金沢掛唄育成チーム「よこて掛唄チャレンジキッズ」を横手北小学校4年生5人で結成し、9月14日の大会本番、9月22日の創作横手歌舞伎、10月16日の横手市子ども伝統芸能発表大会に参加。 ■横手市子ども伝統芸能発表大会を10月16日横手市民会館を会場に開催、出演団体は9団体149人（うち小中学生67人）の発表を行った。 ■横手を学ぶ郷土学総合テキスト「よこてだいすき」の編集を開始し、検討委員会による点検確認を行いながら進め年度末に刊行。市内全小中学生並びに教職員に配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「後三年合戦」を漫画にすることで、5年生以上の小中学生はもとより、その家族も横手市の史実としてわかりやすく、楽しんで理解していただく機会となった。各学校では朝の読書時間等で活用。 ■地域に伝わる伝統芸能の保存継承と後継者育成が、学校と地域（保存団体）の連携により活発化し、様々な発表の場の機会を得て、金沢掛唄育成チーム「よこて掛唄チャレンジキッズ」を広くPRできた。具体的な活動としては、7回の練習と9月14日の大会本番、9月22日の創作横手歌舞伎、10月16日の横手市子ども伝統芸能発表大会への参加となった。 ■横手市子ども伝統芸能発表大会では、出演団体は9団体、149人（うち小中学生67人）となり、計350人の参加を得られた。開催により各団体の交流と活性化、今後の後継者育成に寄与することができた。 ■内容を精査しながら編集作業を行い、年度内に刊行した。H29.4月に市内小中学生全員と教職員、図書館などに配布した。 ■横手北小学校開校記念こけら落とし特別大興業として、9月22日に創作子ども歌舞伎を上演。児童有志約20名が「御存知後三年蛙合戦」を披露した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■次年度以降、新5年生に配布し、楽しみながら市の歴史に触れ、学べる機会として提供する。 ■金沢掛唄に続き、後継者育成に悩む伝統芸能保存団体を学校・地域と連携をとり育成する。 ■横手市子ども伝統芸能発表大会を更に内容充実し開催する。 ■H29.4月には市内小中学生全員に配布し、横手を学ぶ郷土学を授業の中に位置づけ、郷土の歴史、伝統、文化を理解してもらう。 ■創作子ども歌舞伎制作上演事業（H29より新事業として取り組む） 横手の史実である後三年合戦を歌舞伎に取り入れ演じることで、郷土への誇りと愛着を涵養し、地域の歴史を内外に発信する。
21	1/②	次世代ものづくり人材育成事業	次世代ものづくり人材育成事業 【H26以前】	・ものづくりを中心とした学習や職業に関する学習等、キャリア教育の充実を図る取組により、児童生徒の望ましい勤労観・職業観の育成を促進させる。	「横手市キャリア教育研修会」に対する「大変参考になった」と回答する教職員の割合	73% (H31)	70%	71%	432		432	<ul style="list-style-type: none"> ■キャリア教育研修会を開催（実施日：2/10 参加人数：24人） ■横手市小学生職場見学バスツアーを実施（実施日：8/9 参加人数：市内小学校5・6年生52人） ■横手市HPをリニューアルし、「職場体験受入事業所（“未来体験”応援団）」の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■教員のキャリア教育に関する意識の向上が図られた。 ■様々な職場を見学し、仕事に対する興味や関心を高めることができた。 ■横手市HPをリニューアルしたことに伴い「職場体験受入事業所（“未来体験”応援団）」の登録があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもたちの望ましい職業観や勤労観の育成のため、引き続き教員のキャリア教育研修会を開催する。 ■様々な職場の協力を得ながら、子どもたちの仕事に対する興味や関心を高める機会を設ける。 ■職場体験学習の充実を図るため、引き続き受け入れ事業所の登録を実施する。

平成28年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証

No.	基本目標/手段	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度実績					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H28)	指標 実績値	実績額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
22	1/②	横手市情報発信戦略プロジェクト事業	横手情報センター連携事業 【H27⇒28繰越】	・市民一体となった情報発信の推進を担う「横手情報センター」の自律的な運営に向けた支援	横手市役所発信の新規情報提供	5,000件 (H28～32)	3,000件	2,839件	17,128	0	17,128	<p>■企業や民間団体、横手市を中心とした「横手市情報センター設置運営委員会」を設置。横手市情報センターの運営について協議。</p> <p>■デジタルサイネージ「よこてれび」を市内20カ所に設置し情報発信の開始。あわせて市民へ向け情報センターへの情報提供呼びかけを実施。（よこてれび、FM、チラシ、市報等による）</p> <p>■インターネットを利用したアプリ「よこてれび」の運用開始。</p> <p>■情報の多言語化による情報発信。</p>	<p>■7月より市内20カ所にデジタルサイネージを設置し、「よこてれび」による情報発信の開始。</p> <p>■11月よりインターネットを利用したアプリ「よこてれび」の運用開始。</p> <p>■1月より横手市Facebook英語版の運用開始。</p> <p>■2月よりスマートフォンアプリ「よこてれび」の運用開始。</p> <p>■7月～3月までの寄せられた情報462件（うち市民から63件）。</p>	<p>■横手市情報センターを民間に委託しながら市内の様々な情報発信をし、広告収入などで自立させていく。</p> <p>■多言語情報を世界中への情報発信を推進していく。</p>
23	1/②	増田まんが美術館魅力アップ事業	まんがが原画収集保存事業 【H26⇒27繰越】	・マンガ原画の収集及びアーカイブ化を進める。	マンガ原画収集点数 (累計)	175,000点 (H31)	77,450点	105,515点	6,826	0	6,826	<p>■大部数収蔵作家1人（小島剛夕：23,000点）収蔵済み</p> <p>■常設展示作家1人（魚戸おさむ：4点）収蔵済み</p>	<p>■大部数収蔵は当初の計画を上回るペースで進んでいる。</p> <p>■横手市の取組みに賛同し、漫画家自身から収蔵してほしいと連絡が入り、収蔵待ちの状況となっている。</p>	
24	1/②	増田まんが美術館魅力アップ事業	人材育成事業 【H28】	・マンガやアニメ文化振興のための人材育成の取り組み。	マンガ原画収集点数 (累計)	175,000点 (H31)	77,450点	105,515点	1,575	0	1,575	<p>■マンガ学芸員養成プログラミング事業</p> <p>・マンガの専門性を生かした人材づくり（マンガ学芸員）を養成するために必要な知識及び条件等のプログラムづくりを目的とした事業であり、「一般財団法人横手市増田まんが美術財団」への委託事業として実施。</p> <p>・マンガ関連施設での実地研修及び現場スタッフへの聴き取り調査など。</p> <p>■マンガ・増田をどう楽しむ？ワークショップ</p> <p>・増田地域内でまちづくり等に取り組むリーダー養成のためのワークショップを3回開催。</p> <p>トータル40人参加</p>	<p>■北九州漫画ミュージアム、京都国際マンガミュージアムといったマンガ関連施設の視察に加え、学芸業務に従事する現場スタッフからの聞き取り調査などを実施。マンガ学芸員に必要なスキルや心構え等を備えた養成プログラムの指針づくりを行った。</p> <p>■様々な分野で活動する人が集まり、一つのテーマに沿ってワークショップを行ったことにより、横のつながりができた。まんが美術館や町並みに訪れた観光客をどうやって市内全域に波及させるか。何をどう魅せるのか等の話し合いを重ね、次年度以降の活動目標たて、継続して一緒に活動していく確認をした。</p>	<p>■改修工事による休館中も、</p> <p>①常設展示作品及び大部数収蔵作品の収蔵</p> <p>②大部数収蔵原画の台帳作成とデジタルアーカイブ化等を実施する。</p>
25	1/②	増田まんが美術館魅力アップ事業	特別企画展等開催事業 【H26⇒27繰越】	・特別企画展や官学交流イベント等を開催する。	マンガ原画収集点数 (累計)	175,000点 (H31)	77,450点	105,515点	4,536	0	4,536	<p>■関智一トークイベントinまんが美術館 (7/17)</p> <p>■日本橋ヨヲコトークイベント&ギャラリートーク (9/17・18、10/29・30)</p> <p>■矢口高雄&高橋よしひろサイン会 (10/23)</p> <p>■明海大学学園祭での移動ワークショップ (11/4～6)</p>	<p>■閉館前イベントとして声優や漫画家によるトークショーやサイン会を開催したが、全国各地からの参加により、いずれも定員を上回った。</p> <p>関智一：153人 日本橋ヨヲコ：160人 矢口・高橋サイン会：110人</p> <p>■官学連携イベントとして実施した明海大学（千葉県浦安市）との交流には、ワークショップなどに約1,000人の参加があった。</p>	

平成28年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証

No.	基本目標/手段	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度実績					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H28)	指標 実績値	実績額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
26	1/②	増田まんが美術館魅力アップ事業	増田の町並み連携事業 【H26⇒27繰越】	・重伝建地区である「増田の町並み」と相乗的な効果を図るための誘導看板等を設置する。	マンガ原画収蔵点数(累計)	175,000点 (H31)	77,450点	105,515点						
27	1/②	増田まんが美術館整備事業	増田まんが美術館整備事業 【H28】 【H28⇒29繰越】	・増田ふれあいプラザの一機能であった「まんが美術館」機能を強化し、施設全体をまんが美術館に特化し魅力向上を図るための展示及び施設改修工事を実施する。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年 (H31)	45,000人/年	60,000人/年	44,547	29,900	14,647	<p>■増田ふれあいプラザ内の図書館を増田庁舎1階に、公民館・生涯学習機能を増田地区多目的研修センターに移転し、まんが美術館に特化する為の基本・実施設計を行った。</p> <p>■改修後の美術館をより魅力あるものにする為、専門家を招聘し、アドバイザー検討会を実施するとともに、地域内の関係団体からなる「未来づくり協働プログラム横手市プロジェクト推進協議会」を組織し広く意見聴取した。</p>	<p>■大規模改修工事の基本・実施設計が完成し、29年度工事発注。</p> <p>■当初予定していた工事価格を上回る設計内容となっているが、展示内容の充実と、法令を遵守するための工事及び長寿命化工事を追加したことによるものである。</p>	<p>■引き続き、「増田まんが美術館」に特化するための改修工事を実施。工事のため平成29年4月～31年3月休館とし、平成31年4月下旬にリニューアルオープン予定。</p>
28	1/②	横手産品販路拡大事業	横手産品販路拡大推進事業 【H26以前】	<p>・首都圏・仙台圏での横手産品販促とテストマーケティング</p> <p>・バイヤーとの引き合わせにより、生産者が直接の商談機会を増やし、定期商流の構築できるような支援</p>	商談機会提供数	10回/毎年 (H28～31)	10回/年	23回/年	6,851	0	6,851	<p>■仙台圏における販促活動 ・八百長商店(仙台)での直売催事「うめっす菜」の開催(12回)。</p> <p>■首都圏における販路開拓・販促活動 ・サカガミ:フェア(3回のべ8日間)開催及び産地見学による商談機会創出。 ・九州屋:スイカフェア(トップセールス)をはじめ、りんごテストマーケティング実施(2回)及び産地見学の実施。 ・大山商店街催事への参加(2回)。 ・友好都市における物産展の開催(4回)。</p> <p>■人材育成のための体験学習やセミナーの開催(講演会2回、セミナー2回、モス・九州屋店舗での販売体験)。</p> <p>■市内いぶりがっこ生産者、販売者の組織化。</p> <p>■伝統野菜や特産品等の販路拡大支援の実施(県内イオン店舗で販促2回)。</p> <p>■海外における販路拡大・販促活動 ・台湾の商談会でのPRの実施。</p>	<p>■仙台圏における販促活動 ・「うめっす菜」への支援による認知度向上と顧客増加への貢献。</p> <p>■首都圏における販路開拓・販促活動 ・サカガミ社員の産地見学による市産品理解度醸成と商談会開催等による販路拡大(11事業者紹介)。 ・市主催催事のほか、九州屋首都圏店舗での期間を通したスイカ・りんご販売の実現及び九州屋独自企画フェアの開催。 ・友好都市での販路拡大(厚木市:観光協会店舗・市役所食堂での一次産品の採用、ふるさと納税返礼品の相互採用。那珂市:加工品採用、返礼品の相互採用。)</p> <p>■高校生、若手生産者への人材育成事業の実施による、流通・販売に関する理解度の向上。</p> <p>■横手市いぶりがっこ活性化協議会の設立と県産いぶりがっこ販売振興のための県内他団体との連携。</p> <p>■伝統野菜(山内になじん)の販売促進、販路拡大の実現。</p>	<p>■仙台圏・首都圏 ・小売店、友好都市などと連携した販促活動、テストマーケティングへの支援を行い、新たな販路拡大と既存の販路強化、参加事業者の自立を支援する。</p> <p>■高校生や若手農業者に研修や体験の場を提供し、担い手となる人材の育成をはかる。 ・伝統野菜や特産品の品質向上、販路拡大支援を関係機関と連携しながら推進する。</p> <p>■海外 ・北都銀行との連携協定を活用した新たな販路拡大支援。</p>

平成28年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証

No.	基本目標/手段	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度実績					取組み状況	成果	今後の方向性		
							指標 実績値	実績額 (千円)	財源内訳		取組み状況				成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H28)	—	—	—						
29	1/②	横手産品販路拡大事業	海外販路開拓支援事業 【H27⇒28繰越】	・海外販路開拓を目指す市内事業者を総合的に支援するため、輸出業務に精通している専門家による実務セミナーの開催や市場調査を実施する。	商談成立事業者数	3社 (H31)	—	—	2,191	1,543	648	<ul style="list-style-type: none"> ■市内事業者（横手市物産団体連絡協議会員）あて輸出支援希望商品の募集 ■海外販路アドバイザーによる輸出支援事業者訪問、アドバイス用務 ■農業ブランド創造課及び発酵文化研究所と連携した発酵食品の海外販路開拓可能性調査 ■アドバイザーより輸出希望事業者へ対象国の市場状況、法規制等の情報提供 ■国内外バイヤー等への配付を目的とした「横手市農産加工品パンフレット」の作成（日本語・英語） ■海外バイヤー配付を目的とした輸出支援商品の「商品仕様書」「商品規格書」翻訳（英語）支援 ■国際教養大学留学生（タイ、シンガポール）による横手産品試食会の実施 ■タイ王国への企業訪問、現地マーケット視察 	<ul style="list-style-type: none"> ■海外販路開拓を希望する事業者の発掘 ⇒5事業者14商品 ■海外販路開拓希望事業者海外市場及び法規制等に対する理解度向上⇒5事業者 ■有望国内の法規制解除に向けた取り組み（タイ保健省食品医薬品局への事前登録） ⇒4事業者4商品（1社辞退） ■政策間連携（よこて発酵文化研究所ほか）による新たな候補商品の発掘と国際教養大学留学生による横手産品試食会を通じた嗜好性の把握 試食会後の新候補商品 ⇒漬物、みそ、甘酒、リンゴジュース ■タイ王国の貿易商社、現地バイヤー、現地広告代理店等への企業訪問（7事業者）による、横手産品の紹介及びマッチングの事前調査（現地百貨店、日本人向けスーパーなど）と関連事業者とのネットワークの構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ■海外販路開拓を希望する新規事業者の発掘、育成 ■海外販路アドバイザーによる継続、新規輸出支援希望事業者への海外市場等アドバイス ■国内外貿易商社に対する横手産品（輸出支援希望商品）の紹介及びマッチング ■輸出支援希望事業者の自立に向けた貿易実務の勉強会 		
30	1/②	応援人口拡大事業	応援人口拡大事業 【H26⇒27繰越】	・「よこてfun通信」を年4回発行し応援人口の拡大を図り、交流人口の増加や物産振興につなげる	応援市民ネットワーク（「よこてfun通信」）読者数	5,000人 (H31)	3,500人	4,321人	6,509	0	6,509	<ul style="list-style-type: none"> ■「よこてfun通信」発行（6月、9月、12月、3月） ■「よこてfun通信」別冊発行（物産（和洋菓子）カタログ） ■市内中学校2校による首都圏での横手産品販売体験学習を実施（横手北中（131人）4ヶ所、十文字中（121人）2ヶ所） ■市の情報や首都圏で開催のイベント情報、ふるさと会の活動情報を掲載し、横手市を身近に感じてもらえるよう企画（紙面づくり）。 	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年度累計読者数目標 3,500人に対し、ふるさと会会員からの紹介や各種イベント、SNSで周知を図るなどした結果、読者数4,321人（H29年2月末現在）の獲得に成功した。 ・主な周知イベント…友好都市等でのイベント、ふるさと会「funフェスタ（錦糸町）」、まるごとにつぼん「横手うまいものフェア（浅草）」 ■市内中学校が横手産品販売体験学習を開催。ふるさと会員向けに「よこてfun通信」号外で告知。ふるさと会会員を中心とした首都圏在住者に横手の良さをアピールできた。中学生には、ふるさとの魅力について学ぶ機会を創出できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規読者獲得 市出身者が望む「ふるさと情報」などの掲載内容充実を図るとともに、首都圏横手市ふるさと会との連携、県外催事での配布・周知、市SNS、市職員のネットワークを活用。また、財政確保のための業務の民間移行を検討する。 ■物産振興への貢献 市産品を数多く紹介（産品折込カタログ含む）し、読者の購買意欲も高められるような紙面づくりに努める。 ■地元中学生による首都圏での産品の販売PR体験。 ■ふるさと会と連携した首都圏とふるさととの交流物産イベント「横手うまいものフェア」の開催。 		
31	1/②	観光誘客推進事業	国際的産学官連携モデル事業 【H26⇒27繰越】	・訪日観光需要が伸びている台湾をターゲットに、大同大学（台湾）と市内企業連携による情報発信のための中国語サイトの運営やホームステイ・インターンシップ等の活用を通じ、市内への誘客を促進する。	台湾から秋田県内への観光客数の10%が横手市を訪れること	2,500人/年 (H27～31)	1,000人/年	1,611人/年	8,920	0	8,920	<ul style="list-style-type: none"> ■デザインワークショップ in 増田（大同大学・AIU・秋田公立美術大学・増田関係団体） ・企業研修（1か月間×2人） ・台湾観光PR（出前かまくら in 台湾） ・冬期間の情報発信（大学生によるSNSの活用） ・大同大学創立60周年式典出席 ・多言語パンフ増刷 ■デザインワークショップ・企業研修など調整業務委託 ・中国語サイト（HP）保守業務委託 ・大同大学関係訪問時における職員旅費（3回） ・多言語パンフ増刷 ・その他事務費等 	<ul style="list-style-type: none"> ■中国語サイトの運営状況（12か月） ・アクセス数：2,137件（うち台湾から991件 46.37%） ・HP訪問者が見る平均ページ数：2.90ページ ・HP訪問者のうち1ページ見て戻る割合（直帰率）：69.54%（40%～60%が目安） ■デザインワークショップによる案内用サイン作成。増田の町並み・景観に配慮し、外国人旅行者にも理解できる案内用サインを多国籍のワークショップにより作成（6グループ×6種類）し、今後のサインの設置に向けて検討することとした。 ■市内企業の海外研修の実施 大学生の企業研修後、商工会議所青年部による海外研修を実施。市内企業から14名が参加した。（大同大学に通訳・コーディネートを依頼し、大学と繋がりのある企業など各種企業訪問を実施。） 	<ul style="list-style-type: none"> ■台湾の大学からのインターンシップ、ワーキングホリデーが生まれ、地域や企業との交流が生まれる事業展開が主たる目標。（大学側は学生在学中に、日本での研修カリキュラム/単位制を充実させたいという目標がある） ■将来の国際社会を担う台湾の優秀な人材に対し、日本の中の横手市という地域を身近に感じていただき、観光面のみならず、横手市の企業と連携した人的、技術的連携も視野に入れ、市に経済効果を生み出せる事業に展開していきたい。 		

平成28年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証

No.	基本目標/手段	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度実績					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H28)	指標 実績値	実績額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
32	1/②	観光誘客推進事業	インバウンド対応事業 【H28】	・秋田県との合同による観光PR事業 ・多言語による情報発信 ・海外旅行者おもてなし講習会の開催	台湾から秋田県内への観光客数の10%が横手市を訪れること	2,500人/年 (H27~31)	1,000人/年	1,100人/年	2,913	0	2,913	<ul style="list-style-type: none"> ■タイ関係 <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年11月実施のFITフェアには、主催者から6万人以上の来場者があったとのことであり、PRとしては有効な手段と考えている。 ・バンコクの高校では、修学旅行の訪問先として横手市を選定した実績がある。 ・タイからのプロガーも当市を訪問しており、今後も誘客の増加が見込まれる。 ■台湾関係 <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者及び宿泊者は増加傾向にあり、今後もPRを継続することが必要と捉えている。 ■受入体制関係 <ul style="list-style-type: none"> ・多言語による案内やおもてなしを充実させることにより、外国人観光客の満足度も向上傾向にあると期待している。また、セミナーに対する満足度も大変高いものであった。(参加者：全3回合計65名) ■市内における外国人宿泊者数 平成28年 982人 平成27年 563人 平成26年 305人 ■多言語パンフ関係 <ul style="list-style-type: none"> ・これまで多言語による海外向け情報発信を十分に行なえておらず、今後海外向けに横手の情報を発信する有効なツールとなることが期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> ■秋田県と連携し、海外からの誘客に向けPR事業を展開していく。 ■外国人旅行者の受入体制整備のため、多言語による情報発信とおもてなし講習会を継続する。 ■大同大学(台湾)との連携を強化し、台湾からの誘客を図る。 ■多言語によるパンフレット作成や情報掲載等を行ない、海外向けに有効なPRを展開していく。 	
33	1/②	増田のまちなみ振興事業	増田エリア観光誘客事業 【H28】	・増田エリアの魅力発信などにより交流人口を増加させる	増田エリア内の観光客数	330,000人/年 (H31)	240,000人	269,207人	8,986	0	8,986	<ul style="list-style-type: none"> ■雪まつりと酒蔵の連動イベント等 <ul style="list-style-type: none"> ・「かまくら」の期間に運行したシャトルバスに関しては、増田エリアでのおもてなしの取り組みを進めることで利用者数も増加し、「かまくら」に合わせシャトルバス運行を実施。 ・酒蔵めぐりツアーと題し日帰りで増田の町並みも楽しめる旅行商品を地元旅行会社と造成し催行(2/15.16)した。 ・仙台からの誘客を目的に3/4.5に1泊2日の旅行商品を造成し、増田を中心に山内にも立寄る旅行商品を地元旅行会社とともに催行した。 ■ゲームアプリ等連動誘客イベント <ul style="list-style-type: none"> ・スマホアプリ「ingress」のイベントを実施した。 ■観光満足度調査 <ul style="list-style-type: none"> ・施策を検討するために満足度調査を行った。 ■JALとの旅行商品造成及びPR <ul style="list-style-type: none"> ・同社HP等でのPRによる誘客事業を展開した。 ■増田エリア広告宣伝 <ul style="list-style-type: none"> ・秋田空港内に増田地域を中心としたPR用ブースを設置した。 ■JR東日本「大人の休日倶楽部」との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・増田への二次交通強化のため、12月補正予算により臨時バスと乗合ジャンボタクシーを運行させた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■雪まつり「かまくら」の期間運行したシャトルバスは、さらなる利用者の増加を図る取組を進めたい。(連動したイベントを増田で実施するなど調整が必要と考える。) ■酒蔵巡りバス及び仙台からのツアーが好評だったことから、関係者と改善点等を検証し、次年度以降もブラッシュアップし実施したい。 ■JALと連携することで、ホームページや機内誌等での宣伝活動が可能となることから、さらなる誘客を目指し継続することとしたい。 ■「ingress」へのイベント支援及び秋田空港を活用したPR事業については一定の効果があったと認識しているが、上記継続事業へ経営資源を注力するため実施を見直す。今後のニーズ等を見極めたい。 ■観光満足度調査は、次回の調査時には増田地域に特化することなく実施したい。 ■二次交通強化に向け、関係機関との調整を行い、増田へのアクセス向上に向け検討を実施したい。 	

平成28年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証

No.	基本目標/手段	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度実績					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H28)	指標 実績値	実績額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
34	1/②	よこて観光地域 づくり推進事業	地域DMO構築事 業 【H27⇒28繰越】	・横手市観光連盟、横手 市コンベンション協会等 市内の観光地域づくりに 携わることのできる多様 な関係者を巻き込み、地 域DMOを立ち上げ、地 域一体となった戦略性 のある観光振興のための事 業を実施させる。	よこて版DMOの設 立と組織の継続	地域DMO が継続して 運営されて いる状態 (H32)	DMO 1組織	DMO 1組織	11,120	11,120	0	<p>■よこて版DMO設立発起人会を立ち上 げ、横手市観光連盟と横手コンベンション 協会が改組し一緒になった法人組織とし て、よこて版DMOの組織づくりを進め た。</p> <p>組織の骨格メンバーとなる横手市観光連 盟と横手コンベンション協会の双方の理事 ほか、各地域の観光協会の代表者とも協議 を進めるため、12月に第1回発起人会を開 催し、DMO組織づくりに着手した。</p> <p>■DMO組織後にスムーズに事業移行でき るように、横手のブランド構築の一環で 「横手のかまくら」を海外にてPR（台湾 での出前かまくら）を実施したほか、「住 んでよし、訪れてよし」の観光地域づくり をイメージし「リノベーションによる観光 地域づくり」の勉強会やDMOに関する講 演会を開催するなど、組織づくりだけで なく、法人組織設立後を意識した事業を進め ている。</p>	<p>■平成28年度内（平成29年3月）に一般社団法人横手市観光推 進機構を設立した。</p> <p>■台湾での出前かまくらについては、約11万人の集客を得るなど、 効果的にPRできた。次年度以降の雪まつり「かまくら」時の外国 人観光客の増加状況を成果として見極めていく。</p>	<p>■法人設立後は、観光庁のDMO候補法人 登録を目指し準備を進めており、平成29年 度中に申請を行う予定である。</p> <p>■DMO組織後の事業計画の着実な推進 地域住民を巻き込んだ観光地域づく り、地域経済波及効果の創出、横手ブラン ド発信、観光情報の一元化とその発信等</p>
35	1/②	移住定住促進事 業	移住定住促進事業 【H26以前】	・首都圏移住コンサル ジュの活動費 ・首都圏での移住相談 会、セミナーへの参加	移住、またはUター ン件数	13件/5年間 (H27～31)	3件/年	4件/年	1,846	0	1,846	<p>■移住コンサルジュ 首藤郷さん 相談者 8名 各種情報発信等 布施義男さん円 情報発信</p> <p>■移住相談会・セミナー参加 5/28 県主催秋田で農業はじめませんか 相談者 5組 7/9 北東北3県合同移住セミナー 相談者 8組 1/15 JOIN移住・地域おこしフェア 相談者 3組 3/12 まるごと秋田参加予定</p>	<p>■移住コンサルジュ首藤さんの協力により、移住者だけではな く、起業家へ注目が集まっている。</p> <p>■移住相談に来た方で起業希望の方を首藤さん、起業家発掘支援事 業の委託先MAKOTOで支援して起業。</p> <p>■移住者 4組7名 ■相談者 来庁・電話・メール等 32件 相談会 16件</p>	<p>■移住コンサルジュ より移住希望者の希望に寄り添ったサポ ート体制構築とサポート実施。</p> <p>■県と協力した移住希望者発掘 県で実施する首都圏セミナーへの協力と継 続支援</p> <p>■起業支援との連携 横手市へ起業家が集まり始めているので、 更なる呼び込みを商工労働課と協力して実 施する。</p>
36	1/②	移住定住促進事 業	よこてライフ体験 事業 【H26⇒27繰越】	・移住体験ツアーの実施 ・地域組織、既移住者及 び行政との意見交換会を 実施	移住、またはUター ン件数	13件/5年間 (H27～31)	3件/年	4件/年	2,031	0	2,031	<p>■第1回ツアー（県南NPOセンター委託） 5/4～5 → 2組5名が参加 山内（南郷）で農業体験、地元住民と交 流</p> <p>■第2回ツアー（「(株)こめたび」委 託） 5/14～15 →14組 15人 個人事業主を中心に募集を行い、市内若 手経営者をめぐり、横手で起業する題材さ がしを行う。</p> <p>■第3回ツアー実施（県南NPOセンター委 託） 11/5～6 →2組 2人が参加 山内（三又）で農業体験、地元住民と交 流</p> <p>■第4回ツアー実施（3月予定（株）こめ たび委託）</p>	<p>■首都圏・県外居住者を対象としたツアーを3回開催し、横手市の 魅力の再発見と発信、移住定住の促進を図った。 また、ツアーの企画や情報発信、地域住民による受け入れ態勢構 築の過程を通じ、地域コミュニティの維持・向上や地域の活性化に 寄与できた。</p> <p>■移住、Uターンの件数 4件の移住者詳細 山内地域 1組（夫婦・娘） 3名 十文字地域 1組（夫婦） 2名 平鹿地域 1組 1名 横手地域 1組 1名</p>	<p>■多様化する移住者ニーズに対応するため 新たな委託先を発掘</p>

平成28年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証

No.	基本目標/手段	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度実績					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H28)	指標 実績値	実績額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
37	1/②	移住促進空き家対策事業	移住促進空き家対策事業 【H26以前】	・市への移住希望者に対し、市の空家バンクに登録された物件等を紹介 ・県外在住者が市の空家を購入し市への移住した場合、購入空家のリフォームに要する費用の一部を助成	本事業により減少した空家数(移住世帯数)	3住家(世帯)/毎年(H28~31)	3住家(世帯)/毎年	1	525	0	525	<ul style="list-style-type: none"> ■利用相談 3件 ■移住関係事業担当部署との情報交換 ■東京都内での移住促進イベントや物産イベントにて事業紹介チラシを配布 ■首都圏ふるさと会場で事業紹介チラシを配布 ■よこてFun通信発送時に事業紹介チラシを同封 ■市内不動産業者(宅建業協会横手地区協議会会員事業所)へ、事業紹介チラシを送付 リフォーム事業補助金利用 1件 	<ul style="list-style-type: none"> ■空家解消数 1軒 ■移住世帯数 1世帯 ■移住人数 3人(新規2人、Uターン1人) 	<ul style="list-style-type: none"> ■空家対策担当部署から移住定住促進担当部署へ所管替し、移住希望者へアピールするためのツールとして効果的な活用を図る。 ■移住希望者のニーズに合わせ、補助対象要件や金額等の見直しを検討する。
38	1/②	「みんなでささえあう地域づくり」活動支援事業	「みんなでささえあう地域づくり」活動支援事業 【H26以前】	・地域における共助意識の向上と共助の組織づくりや市民協働による地域の活性化と特色ある地域づくりを推進するために、市内の自治会又は町内会、特定非営利活動法人、ボランティア団体等が横手市内で行う社会的活動に対し補助金を交付する。	共助組織数	17(H31)	10	10	2,112	0	2,112	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な取り組み事例や補助対象経費を例示した、わかりやすいパンフレットを作成 ■地域局と連携し、各団体へ補助金制度や共助の仕組みづくりについて説明 ・補助金の交付実績 団体数：12団体 	<ul style="list-style-type: none"> ■新たに1共助組織が設立され、合わせて10組織により共助の取り組みが実践され、地域における共助意識が着実に広がってきている ■12団体へ補助金を交付し、活動を継続するための支援につながった 	<ul style="list-style-type: none"> ■「元気の出る地域づくり事業」及び「地区会議ソフト事業」の見直しにあわせ、制度の充実を図る。
39	1/②	山内南郷コミュニティセンター費	山内南郷コミュニティセンター整備事業(建設) 【H28→H29繰越】	山内地域の南郷地域における、先駆的な市民の共助活動や相互扶助、自主防衛の取り組みの場を確保し、その活動をさらに推進させることを目的としたコミュニティセンターを整備	自主防災活動参加率	51.4%(H31)	—	—						
40	2/①	若者出会い・結婚生活応援事業	若者交流事業 【H26以前】	・「街コン」や「趣味コン」等を企画し、单身男女に出会いの機会を提供	年間婚姻届出数(暦年)	372件/年(H31)	331件/年	297件/年	1,535	0	1,535	<ul style="list-style-type: none"> ■3つの民間団体等が実施する出会い創出イベントに支援 ・「秋は何かと人恋しい…大GOコン!! Vol.12」 主催：横手Dei隊(事務局商工会議所) 開催日等：H28.10.1 かまくら館 ・「の～コン」 主催：JA秋田ふるさと青年部 開催日等：H28.11.20、H29.2.18 開催場所：市内飲食店、横手セントラルホテル ・「chocolat Banquet(ショコラパンケット)」 主催：ルーム合同会社(くりや) 開催日：H28.11.5 市内飲食店(くりや) ■「よこてfanコン」 委託先：㈱Base Line(バルバサポルテ) 開催日：H29.3.10~19(5回開催) 開催場所：バルバサポルテ 	<ul style="list-style-type: none"> ■「秋は何かと人恋しい…大GOコン!! Vol.12」 参加人数 155名(男性81名、女性74名) カップリング数10組 ■「の～コン」 参加人数 54名(男性27名、女性27名) カップリング数4組 ■「chocolat Banquet(ショコラパンケット)」 参加人数 18名(男性10名、女性8名) カップリング数1組 ■「よこてfanコン」 参加人数45名(男性28名、女性17名) <p>合計 272名(男性146名、女性126名) ※カップリング数はアンケート回答者の内の数値。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■今年度の委託事業の検証により、市内で少人数の出会いイベントが定期的で開催されるような環境を整備し、「大人数と会える年に1~2回のチャンス」に加えて「少人数と会えるチャンスが定期的にある」状況を市内に創り出し、パートナーがほしい、結婚したいという度合いとニーズに合わせたサービスを提供していく。 ■会員の成婚率が高い結婚支援センターへの入会について、市独自の告知を進めていく。

平成28年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証

No.	基本目標/手段	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度実績					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H28)	指標 実績値	実績額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
41	2/①	若者出会い・結婚生活応援事業	幸せブーケトス事業 【H28】	・成婚に至り、引き続き若しくは新たに市内へ居住した夫婦に対し、新生活スタート資金との名目として結婚祝金を支給 ・上記の者が受給後2年のうちに、新たな者の成婚を仲介した場合には、に仲介報奨金を支給 ・上記の者に仲介されたの者へ結婚祝金を支給	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	331件/年	297件/年	9,150	0	9,150	<ul style="list-style-type: none"> ■要綱作成 ■市報よこて7/15号、2/15号への掲載 ■横手市ホームページ注目情報への掲載(7/15～継続中) ■横手かまくらFM定期情報による放送(7月～継続中) ■デジタルサイネージへの掲載(7月中旬～継続中) ■回覧板(8月) ※原則横手にぎわい商品券での交付とし、地域経済循環につなげていく。	<ul style="list-style-type: none"> ■結婚生活応援金 180件 ■結婚仲介加算報奨金 3件 	<ul style="list-style-type: none"> ■本事業では、仲介加算者を増加させないと婚姻率の増につながらない。申請時や商品券交付の際、ご夫婦に「仲介できるような対象者がいるか」と伺うと、「いる」と答えるケースが当初の想定より多いと認識している。こうした対象者の結婚につながるよう、すでに祝い金を支給した夫婦(仲介夫婦)への働きかけを実施していく(実施中)。
42	2/①	若者出会い・結婚生活応援事業	結婚サポーター等活動強化促進事業 【H28】	・結婚サポーターの紹介により、交際を開始した者が成婚に至った場合に、当該成婚者の居住地(住民票)の状況に応じ、結婚サポーターに対し報償金を支給	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	331件/年	297件/年	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ■結婚サポーター(県登録)の募集 ・市報よこて6/15号へ掲載 ・横手かまくらFM定期情報による放送(7/15～継続中) ■市内結婚サポーター・北都銀行横手支店・市による情報交換の場の設定(H28.9.29) ■県及び県結婚支援センターが実施する広域連携モデル事業の実施に伴い、当市結婚サポーター及び担当課職員が全県的なマッチング活動に参画。 	<ul style="list-style-type: none"> ■横手市結婚サポーター数 19人 ■情報交換会の状況 情報交換会には8名が参加。事前にサポーターを対象としたアンケートを実施し、現在の活動についての意見交換を行った。若者の意識の変化と個人情報取り扱いの難しさに意見が集中したが、市を上げて取り組んでいく課題であることは一致した。 ■補助金実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> ■本事業は、県の結婚支援センターのサポーターとしての活動が前提。平成28年度実施の県広域連携モデル事業により、県内サポーター同士による引き合わせが行われ、活躍の場が広がるきざしが見られる。情報交換会を継続しつつ様子を見守っていく。
43	2/②	ワークライフバランス推進事業	「男」の育児休業取得促進事業 【H28】	・市内中小事業所で働く男性が積極的に子育てに関わり夫婦ともに仕事と家庭生活のよりよいバランスが図られることを促進し、かつ経営者が働き方の見直しにつなげていくことを目的とし、育児休業を取得した男性労働者を雇用する事業主に助成金を交付	男性が10日以上育児休業を取得した事業所	10事業所/毎年 (H28～31)	10事業所	2事業所	600	0	600	<ul style="list-style-type: none"> ■市報よこて7/1号への掲載(インフォメーション) ■横手市ホームページ注目情報への掲載(7/1～) ■横手かまくらFM定期情報による放送(7/1～7/31) ■企業訪問時における事業概要の説明と資料の配布(7月～) ■「男女イキイキ職場宣言」をしている横手市内35事業所へ通知による情報提供(10/17) ■デジタルサイネージへの掲載(11/7～) ■横手市ワークスタイル研修受講者へチラシの配布(11/29) 	<ul style="list-style-type: none"> ■社会福祉法人 平鹿悠真会(12/14申請) ■有限会社 アール・ブルー(2/7申請) 	<ul style="list-style-type: none"> ■仕事と生活の調和等に積極的に取組み、男女ともにイキイキと働くことができる職場づくりを進めていただくため、更なる周知強化を図っていく必要がある。

平成28年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証

No.	基本目標/手段	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度実績					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H28)	指標 実績値	実績額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
44	2/②	ワークライフバランス推進事業	ワークスタイル研修受講支援事業 【H28】	・働き方の改革に敏感で、仕事と家庭生活の両立の実現に取り組もうとする企業を増やすため、企業や事業所向けにライフワークバランス等に関する研修等を実施 ・雇用者を研修に派遣させた企業や事業所に対し助成金を交付	ワークスタイル研修参加者の人数	700名/4年間 (H28～31)	150人/年	53人/年	790	0	790	<ul style="list-style-type: none"> ■働き方の改革を望み、仕事と家庭生活の両立実現に配慮した事業所等を増やすための「ワークスタイル研修」を実施。(年間3回) ■事業周知 <ul style="list-style-type: none"> ・市報よこてへの掲載 ・横手市ホームページ注目情報への掲載 ・横手かまくらFMによる放送 ・デジタルサイネージでの放映 ・「男女イキイキ職場宣言」をへの勧誘通知 ・商工会議所、商工会を通じ、全会員へのチラシ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ■ワークスタイル研修 受講実績 <ul style="list-style-type: none"> ・10月20日 受講者 15社 19名 ・11月29日 受講者 12社 16名 ・12月20日 受講者 民間 9社 その他団体2団体 18名 ■受講者数は当初想定人数に達しないもの、研修受講後の反応は概ね良好で、再度、受講を望む者もあり、効果ありと思われる。(当研修の成果の判定には、息の長い継続が必要であるもの思われる。) 	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画のみならず、少子化対策(出生率向上)、男女均等政策、労働時間政策、非正規労働者政策など働き方の全般的な改革に関わるため、継続した事業展開を行い、より多くの事業主・従業員への浸透を図っていく。 ■研修受講者については、当初想定した人数に達しないため、1回当たりの受講人数を抑え実施していく。また、研修のシリーズ化や一定規模以上の事業所については、事業所と連携して「出前」研修の実施も検討していく。
45	2/②	若者出会い・結婚生活応援事業	三世帯同居等促進住まい支援事業 【H28】	・子育て世帯(18歳以下の子どもをもつ世帯)が親元等と同居又は近居しようとする場合に必要費用(当該世帯の住宅取得費用、当該世帯又は親元等が所有する住宅の増改築等)の一部を助成	年間婚姻届出数(暦年)	372件/年 (H31)	331件/年	297件/年	10,160	0	10,160	<ul style="list-style-type: none"> ■要綱作成 ■事業周知 <ul style="list-style-type: none"> ・建築業者あて事業開始のお知らせ(7月) ・市報よこて7/15号への掲載 ・横手市ホームページ注目情報への掲載(7/15～継続中) ・横手かまくらFM定期情報による放送(7月～継続中) ・デジタルサイネージへの掲載(7月中旬～継続中) ・回覧板(8月) ・業者あて周知(2月上旬) 	<ul style="list-style-type: none"> ■同居/新築 80万円コース 7件 ■同居/改修等 30万円コース 3件 ■近居/新築 40万円コース 8件 ■近居/改修等 15万円コース 2件 計 20件 	<ul style="list-style-type: none"> ■三世帯同居、近居促進のため当制度の周知徹底を図る。 ■利用者アンケートを実施し、本制度の有効性を検証、より効果的な制度につなげていく。
46	2/②	福祉医療(給付・事務)費(中学生通院医療費への拡大助成)	福祉医療(給付・事務)費 【H26以前】	・中学生の通院医療費も対象とし、自己負担を実質無料化する	受給者数(中学生通院医療費分)	1,892人 (H31)	2,047人	1,896人	867,418	367,831	499,587	<ul style="list-style-type: none"> ■申請書の送付:5月(対象見込み者宛て) ■周知 <ul style="list-style-type: none"> ・市報:6月、ホームページ:6月～、FM:5～6月、医療機関:6月 ■受給者証の交付:7月末～随時 ・制度の実施:8月1日～ 	<ul style="list-style-type: none"> ■給付額 12,378円/人 ■対象者数 1,896人 	<ul style="list-style-type: none"> ■現在、県内全市町村が中学生への福祉医療助成を実施しており、他の15市町村が横手市と同じ制度内容である。今後も継続の方向。
47	2/②	男女共同参画社会推進事業	男女共同参画社会推進事業 【H26以前】	・男女共同参画行動計画の着実な実施と進行管理を図るため、市民による推進協議会を開催し、計画の進捗状況や新たな課題へ対応する。 また、男女共同参画意識の啓発のためのイベントや研修会、女性が活躍できるセミナー等の開催、市報やホームページ掲載等による啓発などにより、市民の理解を促進させる。	男女イキイキ職場宣言事業所数	42事業所 (H31)	36	43	471	0	471	<ul style="list-style-type: none"> ■横手市男女共同参画推進協議会の開催 ■横手市男女共同参画フェスティバルの開催 ■研修会、セミナー等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■横手市男女共同参画推進協議会 2回開催/年 ■横手市男女共同参画フェスティバル開催 来場者 約330名 ■ワークスタイル研修3回開催 参加者 36社2団体 53人 	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、イベントや研修会、セミナー等を開催し、男女共同参画意識の啓発を行う。
48	2/②	保育支援事業	病児保育事業 【H28】	・病児保育施設の整備に対して補助金を交付し、病児保育事業を委託により実施する。	病児保育施設数	1 (H28)	1	1	64,761	46,173	18,588	<ul style="list-style-type: none"> ■病児保育事業を委託する医療機関の敷地内に専用施設を整備 ■保護者のやむを得ない事情で、病気の児童を一時的に預かる病児保育事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■病児保育園「おひさま」の名称で平成29年3月1日に開設 ■乳児から小学校6年生までの病気の児童を対象に1日当り6人の利用定員で委託により実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■病児保育事業を広く周知し、看護師と保育士が常駐する専用施設で預かることにより、安全安心で利用しやすい環境を整えていく。